

《種火起こしに関する情報》 浜通り（13市町村）①

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
1	いわき市	8月10日(火)	いわき市石炭・化石館 ほるる (いわき市常磐湯本町向田3-1)	<p>いわき市では、市が推進する水素エネルギーを活用し、燃料電池車から給電した発火装置を利用して、いわき市の繁栄の基となった常磐炭田の石炭に火を起こし、新旧エネルギーで紡いだ火を種火としました。</p> <p>コロナ禍で市の種火起こしセレモニーに参加がかなわなかった市民の皆様の想いをパラリンピック聖火リレーにしっかりと繋いでいきたいと思えます。</p>
2	相馬市	8月2日(月)	相馬光陽パークゴルフ場 (福島県相馬市光陽4丁目2-5)	<p>相馬市では、スポーツ推進委員会と体育協会のみなさんが水レンズを使用し、太陽光を集めて種火を起こしました。</p> <p>この種火には、共生社会の実現と、東日本大震災からの復興への思いが込められています。</p>
3	南相馬市	8月10日(火)	南相馬市民文化会館 ゆめはっと (南相馬市原町区本町2-28-1)	<p>南相馬市では、東日本大震災からの復興・原発事故で市外への避難を余儀なくされた市民たちの故郷への道しるべとして、神戸市「1.17希望の灯り」から分灯された「3.11希望の灯り」から種火を採りました。</p> <p>被災地の復興、思いやり、やさしさ、絆などを象徴する「3.11希望の灯り」から種火を採ることで、南相馬市から世界中へ、障がいのあるなしに関わらず全ての方への思いやりや優しさ、そして感謝の思いを込めました。</p>
4	広野町	8月10日(火)	広野町二ツ沼総合公園フラワーパーク (広野町大字下北迫字大谷地原地内)	<p>広野町では、二ツ沼総合公園で栽培しているバナナの葉や茎に、町内の子ども達が、マイギリ式と太陽光で種火を起こしました。</p> <p>この種火には、これまでいただいた多くの復興支援に対する感謝の気持ちと、広野町の復興・創生に向けて躍進する姿を国内及び世界の方々に届けたいとの思いが込められています。</p>
5	楡葉町	8月11日(水)	楡葉町コミュニティセンター前 (楡葉町大字北田字鐘突堂5-4)	<p>ゼロカーボン宣言をしている楡葉町では、町内の子供たちや太陽光発電推進に携わる大人が協働して作った空き缶を活用したエコ凹面鏡を使って、クリーンでエコな太陽光を用いた種火起こしにチャレンジしました。</p> <p>古代ギリシャの聖火の採火に通じる凹面鏡を用いて灯した種火には、持続可能な自然エネルギーを用いることで、かけがえのない故郷の環境を未来へつなぐ思いと、パラリンピックを応援する思いが込められています。</p>

《種火起こしに関する情報》 浜通り（13市町村） ②

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
6	富岡町	8月9日(月)	麓山神社 (富岡町上手岡麓山1)	<p>富岡町では、福島県指定重要無形民俗文化財に指定されている「上手岡麓山（かみておかはやま）神社の火祭り」に倣った方法で起こした御神火から、種火を採りました。</p> <p>この祭りは、町を代表する夏の祭礼として毎年開催され、東日本大震災と原発事故から8年ぶりに復活しました。昨年、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされていますが、今回はその方法に倣って起こした御神火から採った種火に、祭礼の後世への継承と、コロナ禍の終息、そして終息の暁には、この祭礼をまた皆様に御覧いただきたい、そんな強い思いを込めて、パラリンピックの聖火として送り出されます。</p>
7	川内村	8月11日(水)	川内村総合グラウンド (川内村大字上川内字高山502)	<p>川内村では、戦後、スポーツに希望を託し、新しい村づくりを目的に始まった「川内村夏季野球大会」が毎年お盆の8月13日～14日に行われ、通称「盆野球」と呼ばれ地域に根付いています。今回は、スポーツ少年団の子ども達に川内村への願いや思いを短冊に書いてもらい、今年で74回目を迎える盆野球の参加チームの代表者の皆さんが、その短冊に火を着け、種火を起こしました。</p> <p>昨今の新型コロナウイルス感染症拡大による、先が見えない不安や絶望を、スポーツの力が明るい未来に導いてくれるよう、また先人達が受け繋いだ夏季野球大会の「火」が川内村の子ども達につながるよう、種火に願いを託しました。</p>
8	大熊町	8月10日(火)	頭森公園広場 (大熊町大字大川原字南平地内)	<p>大熊町では、町に帰還している唯一の中学生・高校生のご兄弟が、マイギリ式で火を起こし、「町の木」に制定されている「縦木（もみのき）」で護摩の焚き上げをして種火を起こしました。</p> <p>大熊町の縦木は、大正12年の関東大震災の後、建築資材として東京に運ばれたこともあったそうです。今回はその縦木で起こした種火に復興への思いを込め、東京2020パラリンピックへと送り出します。</p>
9	双葉町	7月1日(木)	ふたば幼稚園 (いわき市錦町御宝殿56)	<p>双葉町では、ふたば幼稚園の子どもたちが、2021年3月25日に町内で開催された聖火リレーの写真を基に「火」を描き、その作品を種火としました。</p> <p>この絵には、いまなお全町避難が続いている双葉町の復興への思いが込められています</p>

《種火起こしに関する情報》 浜通り（13市町村） ③

No.	市町村名	実施予定日	場所（住所）	種火を起こす方法
10	浪江町	8月6日(金)	道の駅なみえ (浪江町幾世橋知命寺60番地)	<p>浪江町では、今年グランドオープンした道の駅なみえ内にある「なみえの技・なりわい館」で、町の伝統工芸品「大堀相馬焼」の窯から種火を採りました。</p> <p>大堀相馬焼は浪江町大堀地区に300年以上の歴史を持ち、青ひび、二重（ふたえ）焼、馬の絵を特徴として町内外に広く親しまれてきた伝統的工芸品です。東日本大震災に伴う原発事故により、20軒以上あった窯元は全てが町外避難を余儀なくされましたが、約半数の窯元が各地で再建を果たし、今年3月道の駅なみえにも工房が設けられました。今回は、この工房の窯の初めての火入れに合わせて種火を採りました。</p> <p>逆境を乗り越え、伝統を後世へつないでいくという思いが、この種火には込められています。</p>
11	葛尾村	8月7日(土)	葛尾村役場 (葛尾村大字落合字落合16)	<p>葛尾村では、盆踊りの際に復興への祈りを込めて展示する灯籠から種火を採りだしました。灯籠は郡山女子大学が復興への祈りを込めて作成しました。</p> <p>種火には、10年前の東日本大震災と原発事故からの葛尾村の復興への思いが込められています。</p>
12	新地町	8月11日(水)	新地町文化交流センター (新地町駅前一丁目3番地)	<p>新地町では、新地町のオリンピック聖火リレースタート地点である観海堂（かんかいどう）公園に、町の子どもたちが作ったオリジナルキャンドルを並べ、キャンドルに灯した火を種火として採りました。このオリジナルキャンドルの作成には、町の地域団体「みらいと」の皆様も携わりました。</p> <p>子どもたちが未来への想いを込めて灯した希望の火が、新地町から全国へ、そして世界に届くよう願いを込め、種火を送り出します。</p>
13	飯舘村	8月11日(水)	飯舘村交流センター「ふれ愛館」 (飯舘村草野字大師堂17)	<p>飯舘村では、「復興」「再生」「希望」と名付けた3つの火を合わせて種火としました。</p> <p>「復興」の火は、村の鍛冶屋が鉄を叩き続けることで生じた熱から、 「再生」の火は、村の再生エネルギー発電事業者が太陽光パネルを利用した着火装置から、 そして、いいたて希望の里学園では、復興ありがとうホストタウンの相手国ラオスへの思いなどを綴ったメッセージカードで炎の絵を形作り、「希望」の火としました。</p> <p>3つの火は、村の地域おこし協力隊でキャンドル作家の大槻美友（おおつきみゆ）さんが作成したオリジナルキャンドルに灯され、飯舘村の種火となりました。</p> <p>飯舘村の多くの場所や人が関わることで、村の様々な魅力を感じてもらいたいとの思いを込められています。</p>

《種火起こしに関する情報》 中通り（29市町村）①

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
1	福島市	8月13日(金)	街なか広場 (福島市本町17-1)	<p>福島市では、市在住パラリンピアンや障がいのある方、ホストタウン相手国であるスイス、ベトナム出身の方など12名が参加し、マイギリ式により種火を起こしました。</p> <p>種火には、将来に向け共生社会実現への願いを込めて、様々な立場の方が分け隔てなく対等な関係で助け合い、共に生活できる社会実現への想いが込められています。</p>
2	郡山市	8月11日(水)	大安場史跡公園 (郡山市田村町大善寺大安場160)	<p>郡山市では、国指定史跡である大安場史跡公園で、当時に再現したマイギリ式火起こしにより種火を起こしました。「SDGs未来都市こおりやま」の地で、障がいのある方と健常者がともに火おこし体験を行い、共生社会への理解を高めました。</p> <p>種火には、誰もが手を取り合う共生社会を未来へつなげようという強い思いが込められています。</p>
3	白河市	8月11日(水)	白河小峰城 城山公園 (白河市郭内1番地)	<p>白河市では、白河小峰城が築城された時代の、火打石を使った手法により種火を起こしました。</p> <p>市のシンボルとして市民に親しまれる小峰城は、東日本大震災で被災した石垣が8年の歳月を経て美しい姿に蘇りました。復興の象徴であるこの場所で起こした種火には、夢と希望を与えるパラリンピックの希望の灯となるよう、願いが込められています。</p>
4	須賀川市	8月11日(水)	二階堂神社 (須賀川市宮先町78番地)	<p>須賀川市では、伝統的な火祭り「松明あかし」の御神火奉授の手法を再現し、その火から種火を採りました。</p> <p>須賀川市の福祉の基本理念「みんなでつくる 地域共生社会 すかがわ」を目指し、400年以上の伝統を誇る「松明あかし」のような、持続可能な共生社会実現への想いが込められています。</p>
5	二本松市	8月11日(水)	社会福祉法人あおぞら福祉会「菊の里」 (二本松市安達ヶ原一丁目291番地3)	<p>二本松市では、市内の生活介護事業所の利用者が、凸レンズ等を利用し太陽光を集めて種火を起こしました。種火起こしに参加された方には、全国障がい者スポーツ大会に出場している方もおり、二本松市を代表する選手から世界に向けて多様性の種火をお届けします。</p> <p>種火には、「多様性を認め合う」ことの大切さ、誰もが生きやすく、幸せを感じられる社会の実現に向けた思いが込められています。</p>

《種火起こしに関する情報》 中通り（29市町村） ②

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
6	田村市	8月11日(水)	グリーンパーク都路 (田村市都路町岩井沢北向185-6)	田村市では、市を代表する夏祭りの一つでもある「都路灯まつり」の竹筒の火を再現し、その火から種火を採りました。 都路灯まつりは約1万本の竹筒に火が灯される神秘的で幻想的な優しい火が特徴で、これまで、多くの方々に感動と勇気を与えてきた希望の灯です。東京2020パラリンピックが多くの方々に希望を届ける時間となるようにという願いを込めて種火を点火します。
7	伊達市	7月17日(土)	伊達市立保原小学校 (伊達市保原町弥生町15)	伊達市では、市内で行われたオリンピック講演会・陸上教室に参加した小学校5・6年生の児童たちが、マイギリ式で種火を起こしました。 この種火には、オリンピック・パラリンピック選手の活躍を祈り、伊達市から応援するという気持ちが込められています。
8	本宮市	8月3日(火)	本宮市ふれあい夢広場 (本宮市白岩字堤崎494番地44)	本宮市では、市内の障がい福祉事業所の利用者と、本宮高校の生徒が、マイギリ式火おこし棒、火打石で起こした火により、夢や願い事を書いた短冊を燃やし、その火を英国庭園フラワーフェスティバルで制作したローソクに灯し種火としました。 障がいのある方とそうでない方の共同作業による共生の火とし、「復興ありがとうホストタウン」の相手国である英国との絆を込めて、東京2020パラリンピックの成功とアスリート達の健闘を祈ります。
9	桑折町	8月12日(木)	桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」 (桑折町大字上郡字弁慶20-1)	桑折町では、町の未来を担う町内各地区の小中学生が集まり、共同でマイギリ式により種火を起こしました。 種火には、新型コロナウイルス感染症の早期終息と、障がい者との共生社会への想いが込められています。
10	国見町	8月12日(木)	国見町観月台文化センター屋外ステージ (国見町大字藤田字観月台15番地)	国見町では、ふるさと国見町に愛着を持ち、東日本大震災後の国見町を学び、元気な国見町を県内外に発信する「国見ジュニア応援団」の少年少女が、マイギリ式により種火を起こしました。 種火には、ジュニア応援団の児童生徒が、共生社会の実現に向けて、自ら考え、判断し、行動を起こすことができるジュニアリーダーを目指していくという想いが込められています。

《種火起こしに関する情報》 中通り（29市町村） ③

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
11	川俣町	8月12日(木)	川俣町体育館敷地内 (川俣町大字東福沢字万所内山2-3)	川俣町では、町内の子どもたちが、現在、発掘中の縄文時代の前田遺跡になぞらえ、マイギリ式より種火を起こしました。 原発事故から10年を経過した川俣町の更なる復興を祈念し、川俣町の将来を担う子どもたちと共同で取り組むことで共生社会の実現への想いを込めました。
12	大玉村	8月11日(水)	まちなか ふれあい かよい路（みち） (大玉村玉井字町52番地)	大玉村では、村内の障がい福祉事業所「ふれんどリー大玉」の利用者が、共生社会に関する思いや東京2020パラリンピックへのメッセージを記入した短冊を燃やし、種火を起こしました。 種火には、障がいのある人もない人も、ともに分け隔てなく暮らしていける、共生社会の実現に向けた想いと、東京2020パラリンピックの成功への願いが込められています。
13	鏡石町	8月9日(月)	鏡石町構造改善センター (鏡石町旭町175番地)	鏡石町では、町内でパラスポーツに取り組む「TEAMまきばの朝」の皆さんが、マイギリ式により種火を起こしました。 種火には、スポーツを通して「世代や立場を超えて地域住民が共に支えあう地域づくり」が実現されることへの願いが込められています。
14	天栄村	8月11日(水)	天栄村屋内運動場 (天栄村大字下松本字日向2番地)	天栄村では、村内小中学校の児童生徒の代表が、マイギリ式により種火を起こしました。 起こした種火は、天栄幼稚園の園児が作成したパラリンピックカラーである赤・青・緑のキャンドルへ灯され、村内の小中学生が書いた、共生社会の実現への想いや、パラリンピックの成功、選手への応援メッセージなどが書かれたメッセージカードの前で、種火にそれらの想いが込められました。
15	西郷村	8月11日(水)	福島県立西郷支援学校 (西郷村真船芝原151-1)	西郷村では、西郷支援学校の生徒の皆さんがマイギリ式で種火を起こしました。 この種火には、トップアスリートたちが輝くパラリンピックの成功と、共生社会の実現に向けた希望の灯(あかり)となるように、という思いが込められています。

《種火起こしに関する情報》 中通り（29市町村）④

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
16	泉崎村	8月11日(水)	泉崎資料館 (泉崎村大字泉崎字館24-9)	<p>泉崎村の種火は、村内で活動するスポーツ少年団の子ども達が協力しマイギリ式で火を起こし種火としました。</p> <p>種火にはスポーツの力によりパラリンピックの成功と新型コロナウイルス感染症の早期収束するようとの願いが込められています。</p>
17	中島村	8月5日(木)	特別養護老人ホームひかりの里 (中島村大字滑津字宿裏10-1)	<p>中島村では、村の特別養護老人ホームの利用者と、児童館の子供たちが協力してマイギリ式で種火を起こしました。種火起こしには村イメージキャラクターなかじぞうさんも協力してくれました。</p> <p>この種火には、パラリンピックの成功と新型コロナウイルスの終息への思い、そして不安を抱いてしまいがちな暗い世の中をこの火が照らし、明るい未来が来るように、という願いが込められています。</p>
18	矢吹町	8月11日(水)	矢吹町大池公園 (矢吹町大池64)	<p>矢吹町の種火は、「水・花・緑が香る公園」がテーマの四季折々の魅力が楽しめる大池公園を会場に、町の夏祭りのかがり火を再現し、種火を採りました。</p> <p>この種火には、全ての人が平等で平和に毎日の生活が送れますように、との願いが込められています。</p>
19	棚倉町	8月10日(火)	ルネサンス棚倉 (棚倉町大字関口字一本松43-1)	<p>棚倉町では、同じ北緯37度に位置するオリンピック発祥の地ギリシャのスパルタと、昭和61年から友好都市の提携をしている繋がりがあることから、バルテノン風の建物があるルネサンス棚倉の敷地内で、棚倉町シンボルキャラクターたなちゃんが、凹面鏡により太陽光で種火を採りました。</p> <p>住民が相互に尊重し協力し合い、家族や地域でのつながりを大切にし、ふるさとの歴史や文化、自然環境を守り愛着を持って安全安心で健やかに暮らすことを目指す棚倉町の想いが込められています。</p>
20	矢祭町	8月11日(水)	矢祭山親水広場 (矢祭町大字山下字下河原191-25)	<p>町名の「矢祭」の名は八幡太郎義家（源義家）が奥州征伐の際、山麓の神社に矢を奉納したことに由来していると言われています。</p> <p>矢祭町では、マイギリ式により火をおこし、伝説にちなんだ「矢」に火を移しそこから種火を採りました。</p> <p>種火には、障害者が安心して生活できる社会、活躍できる社会になってほしい、最後まで諦めずにゴールをめざしてほしい、との願いが込められています。</p>

《種火起こしに関する情報》 中通り（29市町村） ⑤

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
21	塙町	8月10日(火)	NPO法人ウッドピアはなわ (塙町大字塙字材木町12)	<p>塙町では、町内の障がい者支援施設NPO法人ウッドピアはなわの職員とその利用者のみなさんがまいぎり式により種火を起こしました。</p> <p>種火には、障がい者が生き生きと暮らせる社会の実現や、男女差別のない社会の実現への思いが込められています。</p>
22	鮫川村	8月11日(水)	赤坂館 頂上 (東白川郡鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作128番地 ※ 鮫川村公民館付近)	<p>鮫川村では、かつて赤坂城というお城があった鮫川村市街を一望できる「赤坂館」の頂上で、村内の障がい者支援施設利用者の方に協力いただき、マイギリ式により種火を起こしました。</p> <p>障がい者、健常者が協力して火を起こすことで、障がいをもつ方でも健常者と同じように活躍ができることを再認識するとともに、種火には、今後のさらなる共生社会の発展への願い、そして、パラリンピックで日本を代表して躍動する選手たちへのエールも込められています。</p>
23	石川町	8月11日(水)	愛恵自立支援センター (石川町字古館321)	<p>石川町では、社会福祉法人やまと会が震災後にスタートしたパン工房"ベーカリーあい"で働く皆さんと、障がい者通所事業所愛恵自立支援センターの利用者が協力して、マイギリ式で種火を採りました。</p> <p>町民の皆様にもとてもおいしいと評判のパンですが、運営や製造、販売を障がい者が主体となり行っております。皆さんが協力して起こした種火には、障がい者の社会参加、共生社会の推進への思いが込められています。</p>
24	玉川村	7月16日(金)	森の駅 yodge (玉川村四辻新田村中131)	<p>玉川村では7/18オープンした観光交流施設「森の駅 yodge」で、玉川村産の木材を用いたスウェーデントーチに灯した火から、村内で活動するパラアスリート2名が火を採り、玉川村の種火としました。</p> <p>種火には、共生社会の実現への祈り、世界平和への祈り、新型コロナウイルス感染症の早期収束と1日でも早くマスクのない日常に戻るよう祈りを込めました。</p>
25	平田村	8月11日(水)	NPO法人がんばろう会 (平田村大字蓬田新田字大柏木219)	<p>平田村では、NPO法人がんばろう会の障がい者支援施設だんでらいおんの利用者のみなさんが、マイギリ式により種火を起こしました。</p> <p>この種火には、パラリンピックの主役である障がいのある方の活躍への熱い思いと、パラリンピックの成功への願いが込められています。</p>

《種火起こしに関する情報》 中通り（29市町村）⑥

No.	市町村名	実施日	場所（住所）	種火を起こす方法と種火に込めた思い
26	浅川町	7月29日(木)	浅川町中央公民館 (浅川町大字浅川字背戸谷地143-5)	浅川町では、浅川町身体障がい者福祉会の皆様が見守る中、町内の小学生がマイギリ式での種火起こしにチャレンジしました。 オリンピック・パラリンピックが競技に関する人々だけではなく、幅広い人々に関心を持ってもらえるよう、その願いを種火に込めました。
27	古殿町	8月10日(火)	農業集落多目的集会施設（大網庵） (古殿町大字竹貫字竹之内54番地)	古殿町では、イメージキャラクターのやぶさめくんが古殿町産の「古殿杉」を使って、種火を起こしました。 種火には、障がい者、健常者といった垣根がない社会となることへの願いが込められています。
28	三春町	8月6日(金)	桜工房 (三春町字小滝170番地)	三春町では、NPO法人桜こまちが運営する障がい者就労支援事業所、桜工房で、竹炭を用いた竹炭製品を作成しており、その竹炭をつくるための窯の火から、三春町の種火が採りだされました。 種火には、障がい者就労支援事業所での活動が広くPRされることで、共生社会への理解と実現が進むよう願いが込められています。
29	小野町	8月12日(木)	NPO法人ほっと 障がい者支援センタープラスこまち (小野町大字小野赤沼字入木前53)	小野町では、NPO法人ほっと障がい者支援センタープラスこまちの皆さんが、町木である杉の間伐材にマイギリ式で火をつけ、種火を採りました。 種火には、多様性を尊重し障がいの有無に関わらず、全ての人が共に支え合って生きる共生社会の実現に向けた願いが込められています。

《種火起こしに関する情報》 会津（17市町村）①

No.	市町村名	実施予定日	場所（住所）	種火を起こす方法
1	会津若松市	8月13日(金)	株式会社グリーン発電会津 (会津若松市河東町工業団地1-1)	<p>会津若松市では、山林未利用材を使用した木質バイオマス発電の炎から採火しました。</p> <p>木質バイオマス発電は「カーボンニュートラル」と言われ、SDGs達成に資する資源循環型エネルギーです。</p> <p>種火は、緑に親しみ、守り育てる活動を通じて、郷土に貢献する活動に取り組む「緑の少年団」のメンバーが採火しました。</p> <p>この種火には、未来に向けて、美しい地球環境を守り継いでいこうというメッセージが込められています。</p>
2	喜多方市	8月9日(月)	県立喜多方桐桜高校 (喜多方市豊川町米室字高吉4344-5)	<p>喜多方市では、喜多方桐桜高校の生徒達が学ぶ「工業」の知識や技術を生かし、SDGsの視点に立ち、廃材や身近なものを使った環境に優しい火を起こすプロジェクトチームを立ち上げました。</p> <p>機械科の生徒が壊れた自転車を使い発電装置を、電気・電子科の生徒がシャープペンの芯を使い発火装置を、建設課の生徒が木くずを使ってトーチをそれぞれ作り、生徒が全力で自転車を漕いで起こされた小さな火をトーチに灯し種火としました。</p> <p>共生社会と、持続可能な社会の発展への願いを込められた種火を、喜多方市の火として点火していただきます。</p>
3	下郷町	8月6日(金)	中山花の郷公園 (下郷町大字中山地内)	<p>下郷町では、社会福祉法人南陽会下郷作業所ホイップの皆さんと、日本夜景遺産「なかやま雪月火」を運営する中山行政区の皆さんが、太陽光から共同作業で火を起こし、町の特産品「えごま」から抽出した油を燃料に使ったアルコールランプに灯し、下郷町の種火としました。</p> <p>種火には、共生社会の実現、地域の発展など皆様の願いを込められています。</p>
4	檜枝岐村	8月6日(金)	檜枝岐村三二尾瀬公園 (檜枝岐村字左通124-6)	<p>檜枝岐村では、尾瀬を気軽に体験できる「三二尾瀬公園」で、東北一の高さを誇る百名山燧ヶ岳を背景に種火起こしを行いました。</p> <p>種火は、村の名前の由来にもなっている「檜」を使った伝統工芸品「曲げ輪」の端材を使って、地元小学生が火打ち石での火起こしに挑戦しました。</p> <p>種火には、東京2020パラリンピックの成功と、新型コロナウイルスの終息への願いが込められています。</p>

《種火起こしに関する情報》会津（17市町村）②

No.	市町村名	実施予定日	場所（住所）	種火を起こす方法
5	只見町	8月13日(金)	旧長谷部家住宅 (只見町叶津字居平456番地)	<p>只見町では、県指定重要文化財である「旧長谷部家住宅」の囲炉裏で、町で伝統的に作られていた「かじご焼き」という炭に、先人が使用していた民具を使用して火を起こし、その囲炉裏の火から種火を採りました。</p> <p>自然と人々の共生、その中で育まれた豊かな文化が認められ、ユネスコエコパークに認定されている只見町。自然の恵みと先人の知恵との結晶である炭から採火した種火に、持続可能な社会の発展と、共生社会の実現への願いが込められています。</p>
6	南会津町	7月23日(金)	NPO法人あたご あたご作業所 (南会津町中荒井字西原47番地)	<p>南会津町のNPO法人あたごでは、障がい者のみならず悩みを抱える方に対して、恵まれた南会津の自然環境の中で、様々な体験を通して働く意欲をもたせ自立できる環境づくりに取り組んでいます。活動のなかで、南会津産「杉割り箸」を製造しており、地域の飲食店はもとより、東北地区の大学生協にも納品されるなど、多くの方に使用されています。今回、南会津町では、あたごの皆さんが、その「杉割り箸」の材料となる木材を使い種火を起こしました。</p> <p>共生社会実現に向けた東京2020パラリンピックに向けた聖火フェスティバルに、施設利用者全員で参加することで、これからの仲間づくりと、地域社会のなかでの生きがいづくりにつなげていきたいという願いが込められています。</p>
7	北塩原村	8月12日(木)	会津山塩工場 (北塩原村大字大塩)	<p>北塩原村の種火は、「山塩」を製造する薪窯の火を採りました。山塩は、かつて会津藩や皇室に献上するなど製造が盛んでしたが、昭和20年代に塩の専売化により製造が途絶えました。しかし、山塩を復活させようと地元有志が立ち上がり、平成17年に復活を遂げ、以後村の特産品として欠かせないものとなりました。</p> <p>この種火には、地域住民の共生社会への願いや、困難を乗り越え立ち上がる「復興」へのメッセージも込められています。</p>
8	西会津町	8月3日(火)	社会福祉法人西会津町授産場 (西会津町尾野本字森野甲10番地)	<p>西会津町では、社会福祉法人西会津町授産場で、利用者と職員の共同作業により、施設で使用しているガス溶接機械から種火を採りました。施設ではガス溶接機を用いて車のブレーキランプの組立や加工などを手分けして行い、年間数十万個を加工するほか、様々な活動を通じて障がいをお持ちの方が活躍されています。</p> <p>この種火には、世界平和と共生社会を願い、障がいのある方の活躍への思いを込めました。</p>

《種火起こしに関する情報》会津（17市町村）③

No.	市町村名	実施予定日	場所（住所）	種火を起こす方法
9	磐梯町	8月13日(金)	磐梯町慧日寺金堂 (磐梯町大字磐梯字数万堂地内)	<p>磐梯町では、平安時代初期に高僧・徳一により創建された「慧日寺」とその金堂に灯された灯明から火を分けていただき種火としました。磐梯山の懐に抱かれる霊験あらたかなこの地は、万葉集に読まれた「会津領の国」の郷として発展し、山岳信仰に基づいたさまざまな営みが現在にも根付いています。慧日寺は国の史跡にも指定されており、平成21年に金堂が復元されました。</p> <p>この種火には、共に支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会の実現とお互いが分かり合える、こころのバリアフリーを磐梯町から実行しようという思いが込められています。</p>
10	猪苗代町	8月13日(金)	磐椅神社 (猪苗代町字西峰6199)	<p>猪苗代町では、町の伝統のまつり、「磐梯まつり」の御神火（ごじんか）から種火を採りました。磐梯まつりは、明治21年7月15日の磐梯山噴火で殉難された方々の追悼と供養を目的に昭和23年から始まり、以来地元住民が大切に継承し発展してきました。</p> <p>その御神火（ごじんか）に込められた二つの心、一つは噴火で亡くなった方の「魂を慰める心」、もう一つは新たなものを生み出す自然とそれを守ってきた先人への「誕生に感謝する心」、二つの思いを種火に込め、送り出させていただきます。</p>
11	会津坂下町	7月7日(水)	栗村稻荷神社 (会津坂下町字市中四番甲地内)	<p>会津坂下町では、町の伝統文化である「早乙女踊り」を継承している会津農林高校の生徒の代表と町長が、栗村稻荷神社の御田植祭の神事の際に、神社の灯明から種火を採火しました。</p> <p>早乙女踊りを後世まで受け継いでいくため、早乙女踊りに関係するみなさんの想いと、昨年度コロナ禍により早乙女踊りを披露することができなかった卒業生の想いを聖火の火に込めて、全国のみなさんに届けたいと思います。</p>
12	湯川村	7月30日(金)	湯川村公民館 (湯川村大字清水田字長瀬17)	<p>湯川村では、湯川中学校の生徒がマイギリ式で種火を起こしました。</p> <p>村の宝である子ども達が、健やかに成長し、それぞれの夢を実現できるような未来への願いを種火にこめました。</p>

《種火起こしに関する情報》 会津（17市町村）④

No.	市町村名	実施予定日	場所（住所）	種火を起こす方法
13	柳津町	8月13日(金)	福満虚空蔵菩薩「圓藏寺」 (柳津町大字柳津字寺家町甲176)	柳津町では、疫病退散の願いがこめられた「赤べこ」発祥の寺「圓藏寺」で、13日の縁日に御祈祷した際の灯明から種火を採りました。 人々の幸せを願う赤べこには、疫病退散を願って脇腹に疱瘡の痕が記されています。種火には、一日も早くコロナ禍が終息し、人と人との交流ができる平和な世界が戻ること、また、浪々と流れる只見川の豊かな水と、広大な森林を持つ奥会津の大自然とともに、美しい地球が永く続くことへの祈りが込められています。
14 15 16	三島町 金山町 昭和村	8月6日(金)	三島町生涯学習センター 森の校舎カタクリ (三島町大字西方字上原3580)	三島町、金山町、昭和村の3町村は、合同で種火を起こしました。 3町村の小学4～6年生が参加する合同行事の中で、昭和村の「からむし」、三島町の「桐」を火口にマイギリ式火起こし器で火を起こし、その火を金山町の「漆ろうそく」へ移すことで、3町村の特産品・伝統文化を生かした種火としました。 それぞれの文化を持ち寄り、子供たちが協力して火を起こすことで、絆を深めるとともに、パラアスリートのように、今自分達が置かれている状況をポジティブなものとして捉え、お年寄りから子供まで心地よく過ごせる地域づくりを目指していきたいとの願いが込められています。
17	会津美里町	8月5日(木)	会津美里町役場 (会津美里町字新布才地1番地)	会津美里町では、古代の火起こしの道具を使用し、子どもたちに過去の火起こしを体験・学習する機会を提供しながら、種火を起こしました。 種火には、この行事を通じて子供たちのパラリンピックへ興味・関心が高まり、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合えるような豊かな人間性を育ててもらいたいとの願いが込められています。